

特定非営利活動法人 日本免疫学会
2024 年度 後期 Tadamitsu Kishimoto International Travel Award
研究発表報告書

申請者氏名	猪塚真志	会員番号	0037481	
申請者の 所属・職名	東京大学大学院医学系研究科 アレルギー・リウマチ学			
出席会議名	American College of Rheumatology Annual Meeting (ACR24)			
発表論文 タイトル	Comprehensive single-cell profiling of diverse circulating immune cells in idiopathic inflammatory myopathies identifies a novel pathogenic subset of monocytes.			

実施結果:

この度は 2024 年度後期 Tadamitsu Kishimoto International Travel Award に選出いただき、誠にありがとうございました。

本 Travel Award のご支援のもと、2024 年 11 月 14 日から 19 日まで米国ワシントン D.C.において開催された American College of Rheumatology (ACR) Convergence 2024 に参加いたしました。本学会は、臨床および基礎研究者が集う、リウマチ・膠原病分野の国際的な学術集会であり、最新知見を共有する場です。

私は本学会において、特発性炎症性筋疾患患者を対象としたシングルセル RNA シーケンスの結果を報告しました。免疫担当細胞やそれらの遺伝子発現を網羅的に解析し、患者の多彩な症状や疾患活動性との関連を明らかにしました。特に、古典的単球のうち RNASE2 や CXCL8 を高発現する細胞集団が、皮疹や全身症状の重症度と関連していることを示しました。

さらに、抗 MDA5 抗体陽性患者では、他の筋炎特異抗体陽性患者と比較して、特に単球におけるインターフェロンスコアが高いことを報告しました。これらの知見は、多彩な症状を呈する特発性炎症性筋疾患患者の治療戦略を考慮する上で、症状や筋炎特異抗体ごとに異なる治療ターゲットを判断する際の指針となる可能性を示唆しています。

本研究は欧州リウマチ学会の若手グループ EMEUNET より Top 10 Abstract に選出され、ポスターツアーの対象にもなりました。発表中には、多くの研究者から質問をいただき、活発な議論を行うことができました。

さらに、本学会では Rheumatology 360 Poster Tour のモデレーターとして初めての役割を経験しました。また、米国リウマチ学会の ACR ambassador として、欧州リウマチ学会機関誌「Annals of the Rheumatic Diseases 誌」と「RMD Open 誌」のソーシャルメディアエディターとしても活動し、学会での発表内容の広報に努めました。これらの活動を通じて、新たな臨床免疫学の知見や治療法に関する理解を深めることができました。

最後に、このような貴重な機会をいただいた岸本忠三先生、選考委員の先生方、ならびにご推薦いただきました藤尾圭志教授に深く感謝申し上げます。今後も、本学会で得た知見を研究や臨床に活かし、リウマチ学および免疫学の発展に寄与できるよう努力して参ります。